

A年 聖土曜日

主日のテーマ 「墓の中」

特禱

主よ、わたしたちは恵みによって、尊いみ子イエス・キリストの死にあずかる洗礼を受けました。どうか常に悪欲を殺して、み子とともに葬られ、死の門と墓を通して、復活の喜びに至ることが出来ますように、万民のために死んで葬られ、よみがえられたみ子イエス・キリストのいさおによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 ヨブ記 14:1-14

詩編 第 31:1-5 編

使徒書 ペトロの手紙 I 4:1-18

福音書 マタイによる福音書 27:57-66

⁵⁷夕方になると、アリマタヤ出身の金持ちでヨセフという人が来た。この人もイエスの弟子であった。⁵⁸この人がピラトのところに行って、イエスの遺体を渡してくれるようにと願い出た。そこでピラトは、渡すようにと命じた。⁵⁹ヨセフはイエスの遺体を受け取ると、きれいな亜麻布に包み、⁶⁰岩に掘った自分の新しい墓の中に納め、墓の入り口には大きな石を転がしておいて立ち去った。⁶¹マグダラのマリアともう一人のマリアとはそこに残り、墓の方を向いて座っていた。

⁶²明るる日、すなわち、準備の日の翌日、祭司長たちとファリサイ派の人々は、ピラトのところ集まって、⁶³こう言った。「閣下、人を惑わすあの者がまだ生きていたとき、『自分は三日後に復活する』と言っていたのを、わたしたちは思い出しました。⁶⁴ですから、三日目まで墓を見張るように命令してください。そうでないと、弟子たちが来て死体を盗み出し、『イエスは死者の中から復活した』などと民衆に言いふらすかもしれません。そうすると、人々は前よりもひどく惑わされることになります。」⁶⁵ピラトは言った。「あなたたちには、番兵がいるはずだ。行って、しっかりと見張らせるがよい。」⁶⁶そこで、彼らは行って墓の石に封印をし、番兵をおいた。

※福音書は以下より引用しました。

聖書 新共同訳：(c)共同訳聖書実行委員会
Executive Committee of The Common Bible Translation
(c)日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 1987,1988